

令和6年8月29日開催
調 査

経済福祉常任委員会資料

- 調査事件1 指定管理事業の現状と展望（吉岡温泉、岩部クルーズ、
製氷貯氷施設）について

福祉課・産業課

調査事件 1 指定管理事業の現状と展望（吉岡温泉、岩部クルーズ、製氷貯氷施設）について

I 指定管理者制度の現状について

町では、公共施設のサービス向上及び行政コストの削減を目的に、平成 27 年 12 月に「福島町公共施設の指定管理者に関する手続き条例」を制定し、公共施設等の運営などに関する指定管理を開始しております。また、平成 28 年 3 月には指定管理者制度導入に関する当町の考え方や取扱いをまとめた「福島町指定管理者制度運用ガイドライン」を策定しております。

平成 28 年 11 月には、観光関連施設及びビジネス事業並びに公共施設の指定管理受託等による公益的事業の展開を図る目的で、町民の方々から出資を募り町と共同で、「一般社団法人福島町まちづくり工房」を設立しております。

町は、そのような体制整備を図ったうえで、平成 29 年 4 月から吉岡温泉の管理運営に指定管理者制度の導入を開始しております。

その後、同年 10 月から製氷貯氷施設、令和 4 年 4 月から岩部クルーズ（令和 3 年まで運航委託）の 3 施設において、順次、指定管理者制度を導入しております。

なお、現状の指定管理者制度導入の状況は、次表のとおりとなっております。

○指定管理者制度導入施設一覧（令和 6 年 4 月 1 日現在）

施設名等	指定管理者	指定期間
福島町温泉健康保養センター	一般社団法人 福島町まちづくり工房	①H29. 4. 1～R4. 3. 31 ②R 4. 4. 1～R9. 3. 31
岩部クルーズ船運航業務等	一般社団法人 福島町まちづくり工房	①R 4. 4. 1～R9. 3. 31
福島町製氷貯氷施設	福島吉岡漁業協同組合	①H29. 10. 1～R4. 3. 31 ②R 4. 4. 1～R9. 3. 31

【参考】

（指定管理者制度の目的）

指定管理者制度は、「公の施設」の管理に民間事業者等の有するノウハウを活用することにより、多様化する住民ニーズに効果的・効率的に対応することを目的としている。

（指定管理者制度のポイント）

- ・ 民間事業者も含む「法人その他の団体」を指定
- ・ 指定管理者による施設使用許可処分も可能
- ・ 地方公共団体の広い運用裁量など

1 吉岡温泉の指定管理状況について

吉岡温泉の管理については、平成29年度から5年間の指定期間により一般社団法人福島町まちづくり工房を指定管理者としております。

指定管理は、現在2期目を迎えており、令和4年度からの5年間となっております。

(1) 入館者数の状況について

吉岡温泉の入館者数については、令和2年度から新型コロナウイルス感染数の増加等により、前年度から大きく減少して6万人を割り込みましたが、令和4年度以降においては5万7千人弱で推移しております。

(単位：人、日)

区 分	R 元	R2	R3	R4	R5
入 館 者 数	64,027	57,459	54,231	56,938	56,791
営 業 日 数	305	299	299	310	308
入館者数(人/日)	210	192	181	184	184

(2) 令和6年度入館者数の状況について

新たな吉岡温泉は、令和6年4月23日から供用開始され、利用者から大変好評をいただいております。7月末現在の入館者数は20,641人で、1日平均の人数も50人程度増加しております。

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	合計	備 考
6年度人数	2,028	7,020	5,797	5,796	20,641	
1日平均	290	260	223	223	240	
営業日数	7	27	26	26	86	4/23 オープン
5年度人数	4,996	5,442	4,667	4,560	19,665	
1日平均	200	202	180	175	189	
営業日数	25	27	26	26	104	

(3) 指定管理委託料について

吉岡温泉の指定管理料の積算にあたっては、町が吉岡温泉の管理に要する経費を積算し、管理委託料の限度額を設定したうえで、指定管理者から提出される収支計画書を受けて指定管理料が決定されます。

ただし、指定管理料のうち、燃料費については、単価変動が大きく、予算額が高額であることから、精算方式(収支計画の支出予算額に対し、残額が生じた場合は返還し、不足のある場合は町が補填)を採用しています。

また、温泉使用料については、「料金利用制度」を採用し、指定期間における利用料金(入湯税を除く)は、指定管理者の収入となることから、機械設備等の故障に伴い臨時休館した際の温泉使用料減収分についても、都度協議しながら補填しており、燃料費の精算分と臨時休館に伴う減収分については、年度末に精算しております。

[収入]

(単位:円)

科 目	R 3 決算	R 4 決算	R 5 予算	R 5 決算	R 5 増減
1 管理委託料	50,297,080	53,320,839	54,486,000	54,238,444	▲247,556
2 温泉使用料	3,470,400	3,619,650	3,484,000	3,878,500	394,500
3 自主事業収入	1,158,270	1,226,280	939,000	1,283,720	344,720
4 その他収入	276,314	252,929	235,000	230,816	▲4,184
合 計	55,202,064	58,419,698	59,144,000	59,631,480	487,480

[支出]

(単位:円)

科 目	R 3 決算	R 4 決算	R 5 予算	R 5 決算	R 5 増減
1 管理業務費用	54,395,556	58,154,858	58,205,000	59,482,384	1,277,384
①人件費	24,477,037	25,149,978	24,596,000	27,992,499	3,396,499
②消耗品費	1,962,395	1,951,373	2,017,000	1,799,617	▲217,383
③燃料費	16,591,080	18,028,949	17,724,000	17,265,194	▲458,806
④印刷製本費	55,000	0	55,000	0	▲55,000
⑤光熱水費	6,921,966	8,345,140	9,508,000	8,485,402	▲1,022,598
⑥修繕費	297,016	298,353	300,000	284,020	▲15,980
⑦通信運搬費	84,672	38,131	108,000	36,938	▲71,062
⑧保険料	119,480	119,480	129,000	119,480	▲9,520
⑨手数料	223,500	252,100	325,000	325,600	600
⑩委託料	3,327,300	3,820,760	3,291,000	3,023,040	▲267,960
⑪使用料・賃借料	324,710	139,194	140,000	139,194	▲806
⑫諸会費	11,400	11,400	12,000	11,400	▲600
2 自主事業費用	646,874	753,424	724,000	812,560	88,560
合 計	55,042,430	58,908,282	58,929,000	60,294,944	1,365,944

[差引]

(単位:円)

科 目	R 3 決算	R 4 決算	R 5 予算	R 5 決算	R 5 増減
差 引	159,634	▲488,584	215,000	▲663,464	▲878,464

(4) 施設管理体制について

吉岡温泉の勤務体制は、温泉設備等が変わったことにより、設備管理・受付・清掃業務職員の早出勤務開始時間が2時間遅くなったことにより、勤務シフトが3交代制から2交代制になっております。

業務内容	旧温泉施設	新温泉施設
A 設備管理・受付・清掃	男性4名（3交代制）	男性3名（2交代制）
勤務時間 (勤務シフト)	①4:00～10:30 ②10:30～17:00 ③17:00～23:30 ④15:00～21:30（休館日）	①6:00～13:30 ②13:30～23:00 ③13:00～17:00（休館日）
B 受付・清掃	女性3名（2交代制）	女性3名（2交代制）
勤務時間 (勤務シフト)	①9:00～15:30 ②15:30～21:50	①9:00～15:30 ②15:00～21:20 ③13:00～17:00（休館日）
C 清掃パート	男性1名 女性2名（1名代替要員）	男性1名 女性2名（1名代替要員）
勤務時間	①21:30～23:00（1名配置）	① 21:00～22:30（1名配置）

2 岩部クルーズ運航等の指定管理状況について

岩部クルーズ運航事業及び岩部交流センターの管理については、令和4年度から5年間の指定期間により一般社団法人福島町まちづくり工房（以下「まちづくり工房」という。）に指定管理を委託しております。

クルーズ船の運航状況では、年々、乗船者の口コミやSNSなどの発信、更にはマスコミなどに多く取り上げられたことにより、乗船者数が増加している状況にあります。

青の洞窟を巡る岩部クルーズが当町初の体験型観光として定着してきており、乗船者からは高い評価をいただき、リピーターも増えている状況にあります。

これらに関しましては、運航回数や運航方法などの工夫をしている指定管理者の努力も大きいものと推測しており、岩部クルーズ事業は好調を維持しております。

（1）近年の岩部クルーズ船運航状況について

コロナ禍による自粛等が緩和されて以来、着実に予約数を伸ばしており、乗船料収入においても増加を続けているところであります。

ただ、天候に左右されることが多く、出航率は45%程度となっております。なお、本格運航となった令和3年度からの実績は次のとおりです。

①年度別乗船状況

区 分		R 3	R 4	R 5
営 業 期 間	日	130	165	164
出 航 日 数	日	62	75	74
出 航 率	%	47.7	45.5	45.1
出 航 回 数	回	143	189	198
1 日 平 均 出 航 回 数	回	2.3	2.5	2.7
予 約 数	人	2,829	4,123	4,405
乗 船 人 数	人	1,525	1,904	2,025
有 料 乗 船 人 数	人	1,304	1,779	1,886
1 回 平 均 乗 船 人 数	人	10.7	10.1	10.2
1 日 平 均 乗 船 人 数	人	24.6	25.4	27.4
乗 船 料 収 入	円	3,684,500	5,049,750	5,363,000
1 日 平 均 乗 船 料	円	59,427	67,330	72,473

※1 R3は5月16日から6月20日を緊急事態宣言で運休。

②月別運航日数及び乗船実績について

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
R 3	日 数		6	7	17	10	16	6	62
	乗船者		125	118	408	319	408	147	1,525
R 4	日 数	2	13	11	17	8	17	7	75
	乗船者	55	299	224	414	266	459	187	1,904
R 5	日 数	1	8	16	12	17	17	3	74
	乗船者	27	196	391	320	517	487	87	2,025

(2) 1日当りの利用日に対する出航回数状況について

岩部クルーズ運航は、1日3便を基本としており、3便(回)出航する割合が40.5%と高くなっております。また、まちづくり工房では、当日の予約者に対し天候状況が良好な場合に限り、自主事業として第4便を運航しております。

令和5年度	回 数	日 数	割 合	R4 (割合)
	1 回	6 日	8.1%	9.3%
	2 回	25 日	33.8%	40.0%
	3 回	30 日	40.5%	40.0%
	4 回	13 日	17.6%	10.7%
	計	74 日	100.0%	100.0%

※回数は、出航日当りの出航回数である。

(3) 地域別乗船者数実績について

近年の乗船者の状況をみると、町内近郊の乗船者は減少傾向にあるが、道外からの乗船者は、年々、上昇傾向となっております。

(単位：人)

区分	町内	近隣	函館	札幌	他道内	道外	合計
R 3	117	52	704	272	133	247	1,525
	873 (57.3%)			(17.8%)	(8.7%)	(16.2%)	
R 4	89	13	527	206	93	976	1,904
	629 (33.0%)			(10.8%)	(4.9%)	(51.3%)	
R 5	102	8	343	167	159	1,246	2,025
	453 (22.4%)			(8.2%)	(7.9%)	(61.5%)	

(4) 岩部クルーズ運航事業に係る指定管理委託料について

令和4年度から民間の活力を最大限に引き出すことを目的として、まちづくり工房を指定管理者として指定しております。

近年の収支状況は次の表のようになっており、まちづくり工房の努力もあり、乗船収入が大きく伸び、指定管理者制度が有効に機能しているものと推測しております。

(単位：円)

区 分		R 4 決算	R 5 予算	R 5 決算	R 5 増減
収入	指 定 管 理 料	5,034,000	5,064,000	5,064,000	0
	乗 船 料 等 収 入	5,315,300	4,470,000	5,627,200	1,157,200
	自 主 事 業 等	428,170	430,000	678,890	248,890
	小 計－①	10,777,470	9,964,000	11,370,090	1,406,090
支出	【経常費用】				
	維持管理費	245,982	200,000	238,326	38,326
	物 販 仕 入	256,778	148,500	448,643	300,143
	水道光熱費	520,162	457,600	543,228	85,628
	修 繕 費	0	102,000	0	▲102,000
	【管理費】				
	人 件 費	5,028,130	5,903,645	5,965,511	61,866
	広告宣伝費	2,117,710	730,000	1,626,263	896,263
	通 信 費	338,496	461,045	332,362	▲128,683
	旅費交通費	448,600	511,500	160,740	▲350,760
	交 際 費	0	45,000	52,141	7,141
	車両・消耗品費	559,165	381,000	439,497	58,497
	租 税 公 課	32,970	24,500	28,825	4,325
	支払手数料	459,065	306,950	469,106	162,156
	減価償却費	70,124	41,550	555,662	514,112
	雑 費	74,020	90,780	134,513	43,733
	消 費 税	403,486	458,126	284,858	▲173,268
	小 計－②	10,554,688	9,862,196	11,279,675	1,417,479
	差 引①－②	222,782	101,804	90,415	▲11,389

(5) まちづくり工房の物販（自主事業）状況について

まちづくり工房が自主事業で行っている「岩部クルーズ」関連商品の販売状況及び令和5年度のまちづくり工房全体の物販状況は、次のとおりです。

(単位：個、千円)

区 分	岩部交流センター売店				R5 全物販状況	
	R4		R5		数量	金額
	数量	金額	数量	金額		
食 品	847	340	1,570	608	41,420	12,673
食 品 以 外	293	201	346	277	3,450	1,585
鹿 角 関 連	88	115	226	493	1,934	2,333
事 業 収 入	579	296	524	263	539	589
計	1,807	952	2,666	1,641	47,343	17,180

※R5年度全物販は、「温泉」「ふるさと納税」「WEB ストアー」「事務所」の取扱数値。

(6) 岩部クルーズ運航体制について

まちづくり工房における岩部クルーズ運航の職員体制については、代表理事、正職員3名及び臨時職員1名の5名と地域おこし協力隊1名の体制で行っております。

地域おこし協力隊職員は、令和6年8月末をもって3年間の任期が満了となりますが、まちづくり工房職員として採用される予定となっており、操船業務を主任として担う予定であり、今年度の運航に引き続き従事し、経験を積むこととなっております。

なお、岩部クルーズ運航にあたっての役割分担は、クルーズガイド、操船など、次の体制により業務を行っております。

(令和6年9月1日(予定))

区 分	役 割
代 表 理 事	安全統括管理者・運航管理者・クルーズガイド
正 職 員 A	運航管理補助者・事務所受付
正 職 員 B	クルーズガイド・現地受付
正 職 員 C	操船・船体管理
正 職 員 D	事務所受付・現地受付
臨時職員A (期間雇用)	操船・船体管理

3 製氷貯氷施設等の指定管理状況について

吉岡漁港敷地内に建設した製氷貯氷施設の管理は、水産振興及び住民サービスの向上並びに職員の関連事務の負担軽減を目的に、主たる利用者である漁業者との関係性が高い福島吉岡漁業協同組合を指定管理者としております。

指定管理は、現在2期目を迎えており、令和4年度からの5か年間となっております。

(1) 製氷貯氷施設の処理能力について

製氷貯氷施設の処理能力は、次の表のようになっております。

区 分	処理トン数	備考
製 氷 能 力	日産5トン	
貯 氷 能 力	20トン	

(2) 近年3か年の利用状況について

施設の利用状況については、直近3か年の販売数量が平均で412トンの実績となっており、事業計画当初の438トンを下回っている状況にあります。これは、クロマグロ資源管理による漁獲規制及びスルメイカの不漁が大きな要因となっております。

なお、3か年の実績は次のとおりです。

(単位：kg)

区 分	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	計
R 3	85,960	166,880	104,396	39,280	396,516
R 4	61,500	230,270	80,980	36,400	409,150
R 5	61,080	172,304	103,830	91,940	429,154
平均	69,513	189,818	96,402	55,873	411,606

(3) 指定管理委託料について

[収入]

(単位:円)

科 目	R 3 決算	R 4 決算	R 5 予算	R 5 決算	R 5 増減
1 管理委託料	2,200,000	2,970,000	2,750,000	2,750,000	0
2 製氷販売収入	3,701,743	4,055,804	3,960,000	4,472,527	512,527
3 その他収入	0	12,000	0	3,000	3,000
合 計	5,901,743	7,037,804	6,710,000	7,225,527	515,527

[支出]

(単位:円)

科 目	R 3 決算	R 4 決算	R 5 予算	R 5 決算	R 5 増減
1 人件費	1,826,411	1,904,413	1,910,000	2,037,399	127,399
2 電気料	2,144,733	2,784,337	2,600,000	3,071,385	471,385
3 水道料	126,060	129,525	130,000	139,755	9,755
4 修繕費	0	0	50,000		▲50,000
5 保険料	5,336	5,413	100,000	5,364	▲94,636
6 賃借料	0	49,455	50,000	49,637	▲363
7 保守料	6,600	0	0	0	0
8 保安管理料	182,160	190,629	200,000	430,030	230,030
9 一般管理費	49,455	506,377	459,400	573,357	113,957
合 計	4,340,755	5,570,149	5,499,400	6,306,927	807,527

[差引]

(単位:円)

科 目	R 3 決算	R 4 決算	R 5 予算	R 5 決算	R 5 増減
差 引	1,560,988	1,467,655	1,210,600	918,600	▲292,000

Ⅱ 指定管理者制度の展望について

町では、現在、吉岡温泉及び岩部クルーズ並びに製氷貯氷施設の3つの施設について、指定管理者制度を活用して運営管理を行っております。

現状の中で記述させていただいておりますが、それぞれの施設及び事業の持っている特性により、今後さらなる収益性が望めるものやコスト削減につながっているものなどに分かれていますが、現3施設の指定管理事業は、有効に機能しているものと判断しております。

なお、それぞれの施設の今後の展望については、以下のように考え取り組みを進めてまいります。

(1) 吉岡温泉について

吉岡温泉施設については、今年度から新たな吉岡温泉が運営を開始し、利用者の皆様から大変好評をいただいております、利用者数も前年同時期に比べ増加しており、利用料の増加が見込まれております。

また、町づくり工房では、町からの指定管理委託料及び温泉使用料の収入の外に、自主事業による収入があり、温泉事業を展開していく上で貴重な財源となっております。

令和6年度からは、新しい温泉での物販事業を拡大するため、町では、新たに入口の左側に物販スペースを設けて、飲料水を保管するための業務用冷蔵庫やアイスクリーム、冷凍ピザ等を保管する業務用冷凍庫、調理用の電子レンジやIHクッキングヒーター等の備品を購入しております。

町外の牛乳、ジェラートの販売、菓子類、食品、工房オリジナル商品を販売し、サービスの充実を図っております。

(2) 岩部クルーズ事業等について

岩部クルーズ運航事業は本格稼働から5年を経過し、予約者も年々増加傾向で推移し、乗船者は年間2,000人を超える状況にあり、運航はシーズンを通じて常に満席状態が続き順調な事業展開となっております。

また、自主事業として天候状況に応じて、第4便を運航し乗船希望者のニーズに応じた対応もしております。

しかし、予約自体をお断りしている約2,000名を如何に取り込むかが最大の課題となっておりますが、運航体制に必要な労力の確保に加え、新たな船の整備による可能性など、今後の新たな事業展開に向けた検討については、岩部クルーズのオフシーズンにしっかり町とまちづくり工房が協議・検証の場を設け、より岩部クルーズ事業を展開できるよう取り組んでまいります。

(3) 製氷・貯氷施設について

当施設は、福島地区と吉岡地区にあった施設を新たに吉岡地区に集約し、施設の稼働に係るコストの抑制や漁協職員の労力軽減、更には、氷供給に係る漁業者の待機時間の軽減にも大きく寄与しております。

製氷の取扱いについては、イカ漁業の不漁及びクロマグロ漁業の漁獲規制が引き続き講じられている中でも、近年は供給量が増加している状況にあります。

しかし、電気料金の高騰により支出額が大幅に増加している状況もあり、増収対策として漁協組合員の利用の外、組合員外の一本釣り漁業者への利用普及を推進するとともに、一般町民でも利用できる旨の町民周知を図ることを展開し、施設の機能維持及び維持管理に努めてまいります。